

[中吐]カルボプラチン+パクリタキセル療法

外科 管理番号 D403

処方医:

適応症: 非小細胞肺癌

3週を1コースとして4~6コース

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
カルボプラチン	●																						●
パクリタキセル	●																						●

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

[投与スケジュール] (_____ クール目)

Day1(月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
ポララミン2mg	3錠(内服)		
生食250mL [5時間 点滴静注]	1瓶	グラニセロン点滴静注用バッグ3mg	1袋
		ファモチジン注20mg	1管
		デキサート注 [30分 点滴静注]	19.8mg
		生食 50mL [3] 0分 点滴静注]	1瓶
		生食500mL パクリタキセル200mg/m ² [3時間] [壊死性] アレルギー症状注意 特に初~2回投与時 ほぼ10分 以内 投与中1時間観察	1袋
生食250mL カルボプラチン AUC5 [1時間 点滴静注][炎症性] アレルギー症状注意 複数回以上数分以内	1袋		
生食20mL [フラッシュ]			1管

DAY2(月 日)~3(月 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	1×朝食後

[適正使用基準]

- PS (Performance Status)が0~2である
- ポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤に対し過敏症の既往歴がない
- 重症感染症またはその疑い(CRP異常、発熱、白血球異常増多)がない。
- 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

カルボプラチン 腎障害時用量調節
パクリタキセル 肝障害時用量調節

血液一般検査	項目	単位	基準値
血液一般検査	WBC	(/μL)	4000 ≤
	Neut	(/μL)	1600 ≤
	PLT	(/μL)	15万 ≤
	HGB	(g/dL)	11.0 ≤
血清生化学検査	GOT	(IU/L)	≤40
	GPT	(IU/L)	≤35
	TBil	(mg/dL)	≤1.2
	BUN	(mg/dL)	≤20
	Cr	(mg/dL)	≤1.1

今回 累積

カルボプラチン: _____ mg _____ mg

パクリタキセル: _____ mg _____ mg

[DLF]

カルボプラチン: 白血球および血小板減少

パクリタキセル: 白血球・好中球

[骨髄抑制を考慮した投与量の調節]

パクリタキセル:

WBC4000未満・Neut2000未満で投与中止

前回投与後にWBC1000以下または重篤な末梢神経障害(GradeⅢ以上)を起こしたとき

減量段階	通常	1段階	2段階	3段階
投与量	210mg/m ²	180mg/m ²	150mg/m ²	135mg/m ²

《バクリタキセル》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状〔呼吸困難・胸痛・低血圧・頻脈・徐脈・潮紅・血管浮腫・発汗等〕
- ・間質性肺炎、肺繊維症〔発熱・咳・呼吸困難・胸部X線異常等〕
- ・急性呼吸窮迫症候群〔呼吸困難・低酸素症・胸部X線異常等〕
- ・心筋梗塞、うっ血性心不全、心伝導障害、肺塞栓、血栓性静脈炎、脳卒中、肺水腫

【胸痛・むくみ・呼吸

- ・難聴、耳鳴
- ・消化管壊死、腸
- ・重篤な腸炎〔激しい腹痛・下痢等〕
- ・腸管閉塞、腸管麻痺〔食欲不振・悪心嘔吐・著しい便秘・腹痛・腹部膨満感等〕
- ・肝機能障害、黄疸〔食欲不振・倦怠感・黄疸等〕
- ・脾炎〔腹痛・腰痛・血清アミラーゼ値上昇等〕
- ・急性腎不全〔むくみ・尿量低下・検査値異常等〕
- ・皮膚粘膜症候群、中毒性表皮壊死症〔紅斑・発熱・関節痛・下痢等〕
- ・播種性血管内凝固症候群(DIC)

《カルボプラチン》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状

【チアノーゼ・呼吸困難・胸内苦悶・血圧低下等〕

- ・脳梗塞〔頭痛・意識障害等〕
- ・急性腎不全〔むくみ・尿量低下・検査値異常等〕
- ・麻痺性イレウス
- 【食欲不振・悪心嘔吐・著しい便秘・腹痛・腹部膨満感等〕
- ・間質性肺炎〔発熱・咳・呼吸困難・胸部X線異常等〕
- ・溶血性尿毒症症候群〔血尿・貧血・検査値異常等〕
- ・心筋梗塞、うっ血性心不全